

令和 2 年度決算に係る

定 期 監 査 資 料

令和 3 年 6 月

むきばんだ史跡公園

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	収入証紙取扱調べ	6 頁
7	現金の取扱状況	6 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
8	財産に関する調べ	6 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付け及び使用許可調べ	8 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	8 頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	8 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	9 頁
13	備品の処分状況調べ	9 頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	9 頁
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
15	史跡情報の発信	9 頁
16	見学（受付）者数	10 頁
○	意見、要望等	10 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当なし

(2) 監査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和3年4月1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
		当該年度	2.4.1現在	当該年度	2.4.1現在	当該年度	2.4.1現在	当該年度	2.4.1現在	
定員		7	8					7	8	
現員		() 7	() 8	()	()	()	()	() 7	() 8	
過不足(Δ)		0	0					0	0	
臨時的任用職員		0	0					0	0	
会計年度任用職員		0	0	3	3			3	3	活用補助員2人 史跡管理補助員1人

4 役付職員の調べ

(令和3年6月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
所長	竹内 友徳	1	2	
次長	(兼) 澤 弘一	1	10	文化財局とっとり弥生の王国推進課 課長補佐
係長	本池 優子	2	2	出納員

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	起 債	その他	一般財源
「とっとり弥生の王国」知・楽・学事業 (妻木晩田遺跡)	8, 8 4 4	2, 1 8 7			6, 6 5 7
将来ビジョン	IV【楽しむ】いきいきと楽しみながら充実した生活を送る VI【育む】次代に向けて、躍動する「ひと」を育む				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				
(概 要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
鳥取県が全国に誇る「妻木晩田遺跡」「青谷上寺地遺跡」の価値と魅力を多くの方に知っていただくため、両遺跡を「とっとり弥生の王国」として一体的に情報発信するとともに、イベントやものづくり講座、シンポジウム、遺跡を活用した様々な体験活動等の事業を行う。					
(イ) 事業の実施状況					
細事業名	主な内容		概要		
【知】 (知る)	○GWは、むきばんだ日和		・5/3～6 中止		
	○むきばんだまつり 「むきばんだ秋の満喫ウィーク」として分散開催 (日替わりで多様なものづくり等の古代体験を実施)		・9/23 中止 ・10/31、11/1・3・7・8 開催、 参加者 1,146 名		
	○星取ウィーク・星空観察会 ・星取ウィーク ・星空観察会		・10/12～18 中止 ・11/7 天候不順のため中止 (参加 申込者 33 名)		
	○古代と自然探検隊、なりきり弥生人生活 ※妻木晩田遺跡活用実行委員会との共催事業		・探検隊は、7/30～11/30 に「古 代と自然探検ラリー」として実 施、参加者 183 名 ・弥生人生活は中止、応募者 5 組 19 名		
	○弥生の森講座 ・春の自然と弥生のくらし学習会 ・夏の自然と弥生のくらし学習 ・びっ栗！秋の実りとむきばんだ遺跡		・4/26 中止 →秋へ ・7/24 動画配信開始 ・10/18 開催、参加者 10 名		
	○妻木晩田遺跡への教育旅行誘致 ・校外学習 ・修学旅行 ・学校誘致資料		・校外学習 (小学校 7 校 236 名、 高校 1 校 12 名) ・修学旅行 (小学校 37 校 1681 名、特別支援学校 1 校 23 名)。 ・学校誘致資料作成		
	○県外イベントへの参加による情報発信		・中止		
	○動画配信 ・むきばんだPV (プロモーション動画) ・お気楽♪弥生気分! (古代体験紹介動画)		・3 本公開 ・3 本公開		
【楽】 (楽しむ)	○むきばんだジュニアファンクラブ		・6 回開催、参加者のべ 70 名		
	○弥生のものづくり講座 ・銅鍬鑄造 ・弥生の機織り		・3/20 動画配信開始 ・3/20 動画配信開始		
	○むきばんだ女子考古部		・4 回開催、参加者のべ 28 名		
	○ドキ土器むきばんだ		・9/21・22 中止		

	○むきばんだ満喫ウォーク	・10/4 中止
	○とっとり弥生の王国シンポジウム	・2/20 中止
【学】 (学ぶ)	○とっとり弥生の王国むきばんだ遺跡土曜講座	・3回開催、参加者56名 (うち1回はオンライン)
	○弥生のものづくり講座(上級編) ・高坏づくり、野焼き講座	・7/4・5 土器づくり ・9/5・6 土器野焼き 参加者のべ16名
	○遺跡活用調査研究事業	・中止
	○ドローン撮影による遺跡VR体験学習会 ・空んぼ むきばんだ～空から史跡を見てみると～	・10/24 開催、参加者20名

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・新型コロナウイルス感染症への対応から、イベント・講座等は当初計画からの大幅な変更を余儀なくされたが、分散開催や運営方法の見直しなど最大限の感染症対策を講じて可能な限り実施した。
- ・感染症対策を講じても開催が困難なイベント・講座等についても、できるだけオンラインや動画配信形式に変更して実施した。
- ・イベント・講座等の申込み受付を原則として「とっとり電子申請サービス」に変更し、業務の効率化を図った。

ウ 成果及び効果

- ・ドローンを用いた動画の作成・配信やVR体験学習会を開催し、普段は見る事ができない視点から遺跡の風景を楽しんでもらうことで、遺跡の新たな魅力の発信につなげた。
- ・「むきばんだまつり」の代替イベント「むきばんだ秋の満喫ウィーク」では、延べ5日間の分散開催とするとともに原則として事前申込みとしたことで、密を避けながら大規模イベントを実施することができた。また、一部の日程で開園時間を延長し、夜間ライトアップを演出したことによって、夜の遺跡の景観を楽しんでもらうことができた。
- ・むきばんだ史跡公園のYouTube公式チャンネルを開設し、ドローンを用いたプロモーション動画のほか、古代体験「お気軽♪弥生気分！」や弥生のものづくり講座等を配信することで、遺跡の新たな魅力を発信した。

エ 課題

- ・新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、イベント・講座の内容や情報発信の方法を再構築する必要がある。
- ・県内外からの集客をはかるため、調査研究の成果を活かして全国に広く情報発信するとともに、青谷上寺地遺跡との連携を強化して両遺跡を一つのパッケージとする観光資源として磨き上げる必要がある。
- ・地域の住民に史跡の重要性を知っていただき、史跡の活用に積極的に関わっていただける仕組み作りを進める必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
妻木晩田遺跡調査整備事業 (保存整備)	12,292	3,290			9,002
将来ビジョン	IV【楽しむ】いきいきと楽しみながら充実した生活を送る VI【育む】次代に向けて、躍動する「ひと」を育む				
令和新時代創生戦略	-				
政策項目	-				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺構の保護及び公開・活用のための環境整備を行う。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による腐朽等が顕著な高床倉庫(洞ノ原東側丘陵)の再整備、高床倉庫(妻木山地区)の屋根の葺き替えを行った。 <p>イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで維持管理で培われた知識を、高床倉庫の再整備、屋根の葺き替え等に活用した。 <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化のため、柱が干割れし、地中部分が腐食しているほか、壁板がずれ、茅葺屋根が腐食している状態であったため、柱材、壁板、屋根の全面葺き替え等を実施した。この再整備工事によって建物が健全となり、安全に見学できるようになった。 ・経年劣化のため、屋根材に使用している茅の脱落が顕著であったため、屋根の全面葺き替えを実施した。この葺き替えによって、雨漏りの心配がなくなった。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復元整備から10年以上が経過し、全体的に復元建物の経年劣化が進んでおり、年1～2棟の頻度で再整備や大規模修繕が必要となっており、再整備(大規模改修)の基本方針や事業計画を検討する必要がある。 ・整備公開エリアの解説等について、多言語対応ができていない(ガイダンス施設展示・パンフレットは整備済)。 ・平成29・30年度発掘調査によって新たに発見された3基の墳丘墓(=民有地)について、適切な保存活用を図るために追加指定が必要である。 					

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
妻木晩田遺跡調査整備事業 (発掘調査)	17,860	8,261			9,599
将来ビジョン	IV【楽しむ】いきいきと楽しみながら充実した生活を送る VI【育む】次代に向けて、躍動する「ひと」を育む				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
・妻木晩田遺跡の集落像を明らかにする。					
(イ) 事業の実施状況					
・妻木新山地区2区南側斜面部における第36次発掘調査の実施					
・『妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2020』の作成					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
・令和3年度以降の発掘調査の年次計画について、重点調査の実施内容等の見直しを行った。					
ウ 成果及び効果					
・「発掘調査年次計画 長期計画第Ⅲ期 出現期～展開期における集落像の解明(R1～R7)」に基づき、谷・斜面部における土地利用状況の解明を目的とし、令和4年度の重点調査に向けた内容把握調査として、令和元年度に実施した第35次発掘調査に引き続き、妻木新山地区2区の南側斜面で第36次発掘調査を実施した。調査の結果、丘陵斜面中腹まで集落展開期(弥生時代後期前葉～中葉、1世紀後半～2世紀前半)の遺構が分布していることが確認でき、丘陵斜面も生活域として積極的に利用していたことが明らかとなった。					
・『妻木晩田遺跡調査研究年報2020』を刊行し、妻木新山2区丘陵斜面部における居住域の広がりや土地利用などに係る最新の調査研究成果を発信した。					
エ 課題					
・妻木新山地区2区南側斜面の中腹付近まで遺構の分布が認められ、斜面も積極的に利用されていた状況が明らかになったが、妻木新山地区2区の北側斜面の様子について把握できていないため、引き続き調査を行い、土地利用状況の検証を行っていく必要がある。					
・過去の調査研究成果の整理と課題抽出を行い、今後の調査や整備に生かしていく必要がある。					

6 収入証紙取扱調べ
有 ・ 無

7 現金の取扱状況
(1) 現金取扱状況
該当なし

(2) つり銭の状況
該当なし

8 財産に関する調べ
(1) 公有財産
ア 土地

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等 (内訳)	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日		面積 (㎡)	価額 (円)
行政財産			1,453,899.00	不明									
		西伯郡大山町菱木 字畷田1115-4、西 伯郡大山町長田字 松尾頭1103-3			増加	R2.10.21	37,758.00	不明	米子市と交換後所 属替えにより	R2.9.29	37,758.00	不明	とっとり廳きふ改革 推進センターと とっとり衛生の玉面産産 課へ所属換（普通財 産） その他の財産名称及び 普通財産から行政財 産へ分類換
計			1,453,899.00	不明							1,491,657.00	不明	

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等 (内訳)	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日		面積 (㎡)	価額 (円)
行政財産			2,028.14	518,655,990							2,028.14	518,655,990	
					増加	R				R			
					減少	R				R			
計			2,028.14	518,655,990							2,028.14	518,655,990	

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	土地の権利区分	機関名又は施設名等	所在地	土地の面積等				立木の推定蓄積量			備考
				前年度末面積 (㎡)	本年度の異動状況		本年度末面積 (㎡)	前年度末現在高 (㎡)	本年度中増減高 (㎡)	本年度末現在高 (㎡)	
					増減別	異動日					
行政財産	県有	むさびんだ史跡公園	西伯郡大山町 墓木 米子市淀江町 福岡外		増加 R		R	20,541.65	0.00	20,541.65	
計					減少 R		R	20,541.65	0.00	20,541.65	
合計								20,541.65	0.00	20,541.65	

エ 動産 (船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機)

該当なし

オ 物権

該当なし

カ 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

(ア) 異動状況

(令和3年3月31日現在)

区分	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		増	減		
商標権	2件	0件	0件	2件	

(イ) 出願及び登録の状況

(令和3年3月31日現在)

区分	名称	出願日	登録日	活用の有無
商標権	図形 (墓木晩田遺跡シンボルマーク) 第4609151号 (第41類)	H13.8.8	H14.10.4	有
出願中	0件	登録済	2件	

(ウ) 活用の状況

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 (無)

イ タクシーチケットの保有状況
該当なし

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

(2) 物品

該当なし

10 借受不動産明細調べ

該当なし

11 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	西伯郡大山町妻木1115-4	12.5	1,000

(2) 減免の考え方

勤務地が地理的に不便利な場所であり、公共交通機関を利用した場合、勤務地の最寄り駅・バス停から勤務先までの距離が遠く、始業時間に間に合わない、かつ、公共交通機関での退庁が困難であるため。(10/10減免。直近の最寄り駅まで5km以上離れており、米子市巡回バスも1日3便のみで日曜、祝日、冬季は運行しない。)

(3) 使用料の見直し

令和2年10月13日実施

1 2 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

1 3 備品の処分状況調べ

該当なし

1 4 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 ・ 無

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

1 5 史跡情報の発信

(1) 普及資料の発行

ア 図書

(単位：部)

名 称	内 容 等	発行部数		備 考
		無償配布	有償配布	
妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2019	令和2年度発掘調査概要報告及び分析結果等の調査研究報告	400	20	
鳥取県立むきばんだ史跡公園年報2020	令和元年度の史跡活用事例等の報告	300	0	

イ パンフレット

(単位：部)

名 称	部 数	配 布 先 等
むきばんだ女子考古部活動報告集	1,500	県関係機関、県内外観光施設、来園者 等
復元建物再整備紹介パンフレット	2,000	県関係機関、県内外観光施設、来園者 等

(2) 出前授業の実施状況

機 関 名 (所在市町村名)	内 容
青谷高等学校 (鳥取市)	選択授業における土器づくり指導
青谷高等学校 (鳥取市)	選択授業における土器野焼き指導
NPO法人むきばんだ応援団 (米子市)	出前講演
日南町教育委員会 日南っ子クラブ (日南町)	教育委員会主催の冬休みイベントにおける勾玉づくり指導
米子白鳳高等学校 (米子市)	授業における勾玉づくり指導
米子白鳳高等学校 (米子市)	授業における編布コースターづくり指導
米子白鳳高等学校 (米子市)	授業における木さじづくり指導

(3) 出土品、写真、活用資料の貸出状況

貸出先名称 (所在市町村名)	貸出物
NPO法人むきばんだ応援団 (米子市)	写真データ 3点
鳥取県立米子高等学校 (米子市)	土器づくり工具一式 29セット
山陰文藝協会 (島根県松江市)	写真データ 1点
宇田川青少年育成会 (米子市)	火おこし道具 3セット
松江市歴史まちづくり部まちづくり文化財課 (島根県松江市)	建物復元整備図面 一式
米子市立成実小学校 (米子市)	本格石庖丁づくりセット 10セット
米子市立成実小学校 (米子市)	土笛づくりセット 10セット
株式会社イースト・エンタテインメント (東京都港区)	YouTube動画公開データ 1点
大山町教育委員会 (大山町)	写真データ 1点
KOTO GUIDE JAPON (滋賀県高島市)	写真データ 3点
上越市教育委員会 (新潟県上越市)	イラストデータ 1点

1.6 見学(受付)者数

(令和3年3月31日現在)

(単位:人、校、件)

一般(個人)	団体
人	団体のうち学校の利用 (小学校) 44校 (1,917人)
16,482	(中学校) 1校 (1人)
	(高等学校) 1校 (12人)
	学校除く各種団体の利用 52件 (1,502人)
	合計 (3,431)人

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし